

断熱リフォームで家の断熱性能を高め 夏は涼しく 冬は暖かい 家で暮らそう

断熱リフォームをすればこんなにメリットが！

窓からの冷気を感じなくなった

部屋ごとの温度差が小さくなった

カビや結露が発生しにくくなった

暖冷房がよく効き、光熱費が下がった



おうちの快適性が向上し、家族が健康になり、省エネ・省CO₂で地球の健康にもつながります。

スケジュール(予定)	令和4年												令和5年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	公募期間 3月14日 ～ 6月3日			公募期間 6月17日 ～ 8月10日			公募期間 9月12日 ～ 11月18日 12月9日			次回 公募予定					

※公募期間に関わらず、補助金予算の上限額まで達することが判明した場合は、それ以降の公募受付を終了することがあります。

公募スケジュールについては、必ず財団ホームページにて最新の公募期間をご確認ください。

断熱リフォーム北海道環境財団 [検索](#)

〒060-0004
北海道札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤ビル7階

詳しいお問い合わせは

メール danref_ask@heco-hojo.jp

電話 011-206-1573
【受付時間】平日10時～17時 ※通話料がかかります

公益財団法人
北海道環境財団
補助事業部



〈全国対象〉

二酸化炭素排出抑制
対策事業費等補助金

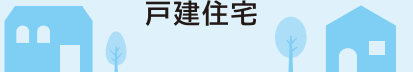
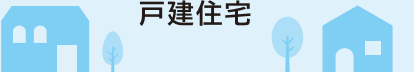
居間の窓だけでも対象！

既存住宅の断熱リフォーム 支援補助金について

おうちは
夏は涼しく 冬は暖かく

窓のリフォームだけでも申請ができます

脱炭素で快適、健康、お得なライフスタイルを

事業名	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 既存住宅における断熱リフォーム支援事業					
	トータル断熱			居間だけ断熱		
住宅区分	 戸建住宅	 集合住宅		 戸建住宅	 集合住宅	
		(個別)	(全体)		(個別)	(全体)
事業内容	省エネ効果(15%以上)が見込まれる改修率を満たす 高性能建材(断熱材、窓、ガラス)を用いた既存住宅の断熱リフォーム事業			居間(日常生活の中心であり、家族全員の在室時間が最も長い居室)に 高性能建材(窓)を用いた既存住宅の断熱リフォーム事業		
補助対象となる申請者	個人の所有者または、個人の所有予定者 賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)		管理組合等の代表者 賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)	個人の所有者または、個人の所有予定者 賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)		管理組合等の代表者 賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)
補助対象となる製品	高性能建材(断熱材、窓、ガラス+玄関ドア) 		高性能建材 (断熱材、窓、ガラス+玄関ドア+共用部LED) 	高性能建材(窓+玄関ドア) 		高性能建材 (窓+玄関ドア+共用部LED) 
	 家庭用蓄電システム 家庭用蓄熱設備 熱交換型換気設備等	 熱交換型換気設備等	—	 家庭用蓄電システム 家庭用蓄熱設備 熱交換型換気設備等	 熱交換型換気設備等	—
補助率	補助対象経費の1/3 以内			補助対象経費の1/3 以内		
補助金額(上限額)	1住戸当たり120万円 (玄関ドア5万円を含む) 家庭用蓄電システム:20万円 家庭用蓄熱設備:20万円 熱交換型換気設備等:5万円	1住戸当たり15万円 (玄関ドア5万円を含む) 熱交換型換気設備等:5万円	1住戸当たり15万円 (玄関ドア5万円 及びLED補助額を含む)	1住戸当たり120万円 (玄関ドア5万円を含む) 家庭用蓄電システム:20万円 家庭用蓄熱設備:20万円 熱交換型換気設備等:5万円	1住戸当たり15万円 (玄関ドア5万円を含む) 熱交換型換気設備等:5万円	1住戸当たり15万円 (玄関ドア5万円 及びLED補助額を含む)
申請要件	・常時居住する専用住宅であること。 ※賃貸住宅(社宅を含む)も対象 ・店舗・事務所等との併用は不可とする。			同左		
	交付申請後に所有を予定している場合は、 完了時に登記事項証明書の写しを提出すること。		・当該集合住宅の全戸を改修すること。 ・改修について当該集合住宅の管理組合 総会等での承認決議を得ること。	・居間は必ず改修すること。 ・交付申請後に所有を予定している場合は、 完了時に登記事項証明書の写しを提出すること。		・居間は必ず改修すること。 ・当該集合住宅の全戸を改修すること。 ・改修について当該集合住宅の管理組合 総会等での承認決議を得ること。

